

明神岳 南西尾根から主稜 前穂高岳

2016年10月9日(日)・10月10日(月)

メンバー：佐々木



アクセス：

沢渡駐車場からシャトルバス利用

計画：

当初の計画は初日に本ルート、翌日に奥穂高岳南稜だったが、天候回復を待ち入山が遅くなったため、今回は本ルートのみ山行となった。

10月9日(日)：小雨～快晴・強風

雨が止むのを待ちきれず、上高地からスタート。

前日までの雨で、登山道脇には幾筋かの沢ができていた。

南西尾根へは、岳沢の登山道No.7標識から取り付く。ここから5峰の肩までは樹林帯を進む。取り付きの辺りは、倒木が遮っていて歩きにくい。

2200m辺りから虎ロープが出現する。虎ロープ帯の後半では尾根が痩せてくる。ハイマツ帯に出て視界が開ければ間もなく5峰南西尾根の肩だ。

本日はここまでとする。環境への身体耐性向上とツェルトの対風性能確認を兼ねてビバークとした。それにしても風がきつい。風速は20m以上か。ツェルトが大きくはためく。

私以外にも、後からやってきた2パーティーがテン泊。



夕方には天候回復
気持ちのいい青空に5峰



乗鞍に沈む綺麗な夕日
押しつぶされそうな風に耐える。

10月10日(月): 快晴

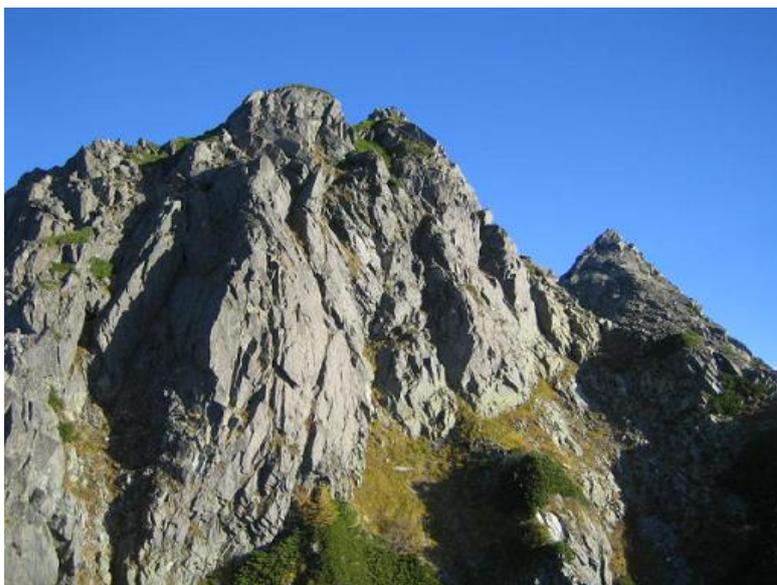
他のパーティーに先んじて撤収し5峰へ取り付く。体感は零度。

5峰へは肩からやや左よりにコースをとった。踏み跡をはずすとガレガレで歩きにくい。4峰への踏み跡は明瞭。3峰へは登らずに基部の岳沢側をトラバースする。足下の岩が所々ぐらつく。ここは要注意。3峰を巻いて2峰を直登すれば、すぐに懸垂ポイントに至る。支点は容易に見つかるが、懸垂支点辺りの岩も浮いている。容易に体重はかけられない。

主峰へはガレガレを崩さないよう慎重に登った。



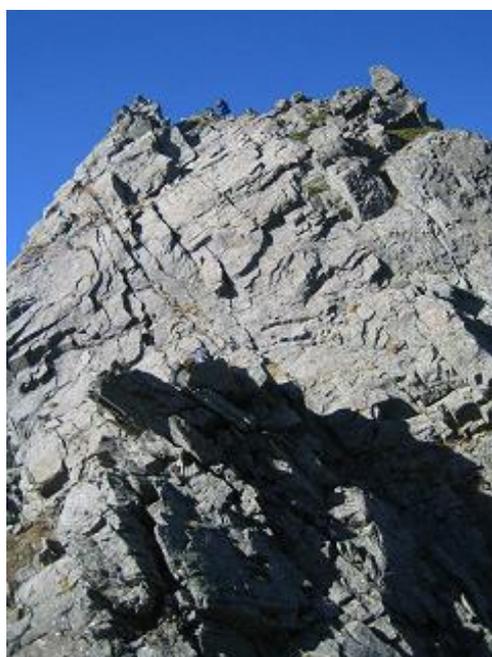
5峰に残されているピッケル



3 峰、2 峰、主峰



特徴的な 2 峰



2 峰から後続パーティー懸垂中

主峰から奥明神沢のコルへは、少し岳沢側へ降りてトラバース気味に抜けたが、ここは稜線直下を行けたようだ。コルへの最終下降はクライムダウンした。少し足場が脆いので、懸垂がベターだったと思う。

前穂手前の小ピークでおそらくルートミス。簡単そうに見えた中央を登ったのだが、2～3手ほど難しかった。

賑わう前穂山頂で一休み。紀美子平から渋滞の重太郎新道を岳沢小屋へ下り、上高地へ戻った。

三連休の最終日で沢渡へのシャトルバス乗り場は大行列ができていた（涙）。
これが今回、最大の核心だった。
沢渡到着後は、梓湖畔の湯で汗を流し、ゆで卵をいただいて家路についた。

所感：

穂高の峰々を眺めながら一つひとつの頂を越えて行く。そこそこ高度感があり、岩稜も楽しめる。とっても気持ちがいいルートだった。



1 日目

上高地バスターミナル 09:00 09:05 河童橋 09:05 09:20 岳沢湿原・岳沢登山口
09:20 09:40 7 番標識 09:50 13:10 明神 5 峰の肩 泊

2 日目

明神 5 峰の肩 05:40 06:10 明神岳 5 峰 06:15 06:40 明神岳 4 峰 06:45 07:25
明神岳 2 峰 08:20 08:40 明神岳 08:45 09:20 奥明神沢のコル 09:25
09:50 前穂高岳 10:00 10:25 紀美子平 10:25 11:50 岳沢小屋 12:05 13:30 岳沢
湿原・岳沢登山口 13:30 13:45 河童橋 13:45 13:50 上高地バスターミナル